

令和2年度 ユネスコスクール NISHITA 校内研通信 No.3

3年生研究授業 国語科「食べ物のひみつ教えます（説明文を書く）」3-2

◆本時について

評価規準：集めた情報を整理するには、図や表といった手段があるということを提示し、実際に自分が集めた情報を整理する活動を行う。

- 何を教えるのか：情報の収集・整理・活用のしかたとそれを生かして文章を書くこと。
- なぜ教えるか：目的に応じた情報を収集したり、集めた情報を整理したりすることは、自分の考えや意見をわかりやすく発信するのに重要であるから。
- どのように教えるか：説明的文章を書くという学習を通して、実際に情報を収集したり、整理したりする活動を行う。
- どのような力を育てたいのか：適切な情報を集める力（情報収集力）  
集めた情報を整理する力（比較・分類する力）  
読み手を意識して文章を書く力（文章を書く力）

◆協議会での意見 授業を振り返る視点

- ・指導者が図や表といった情報を整理する方法を伝え、児童が実際に情報を整理することで、児童は自分が集めた情報について理解が深まり、説明文を書く見通しをもつことができたか。

国語：選んだことによって左右される/どういう風に書いていこうか確認する時間があったよかった/どこをそぎ落とすかに触れても良かった/調べの段階で今日の表を渡しても良かったのか。  
図工：集めた情報を整理してまとめる過程は必要/どこを切り取ればよいのか、どう選択したらよいのかは難しい。例示を出すか、個別の指導調べる段階で多少整理しておく、書くのが苦手な子に良かったのかも  
理科：情報を集める段階で制限してもよかった/詳しい話がそぎ落とされすぎてしまうのでは  
社会：付箋で順番入れ替えもよい/イメージマップの順番 食品→工夫/調べておく時に取捨選択するとよいが、自分の思いが入る余地がなくなる

◆本研究授業を振り返って—研究主任より—

国語科分科会の先生方、授業のご提供ありがとうございました。情報の収集や整理分析は問題解決学習においてとても大切な力です。方法は様々あると思いますが、国語部会の先生方が吟味された方法だからこそ、子供たちの思考が整理されたと考えます。その意味で、今回の授業提案はESDの基礎となる力を育成する内容であったといえます。どんな素晴らしい問題意識をもち、じっくりと調べたとしても、それらが適切に表現することができなければ伝わりません。よりよく表現するためには、情報の整理分析の力は必要不可欠です。

また、本校の3学年の総合的な学習の時間で育成を目指す能力態度として「多様性や共通性」について考える力があります。整理分析することで多様性や共通性を見出すことができます。その点で、今回の国語部会の授業提案は「多様性や共通性」について考える力を育成するための、国語による実践であったといえます。さらに、情報を整理分析し傾向を見いだすことで、今後の予測を可能にすることができます。その点で本授業提案は、本校の4年生総合的な学習の時間で育成を目指す、「未来を予想して計画を立てる能力」を構成する一要素でもあると考えます。

子供たちが今回の授業実践を通して、どのような文章を書いたのかとても気になる所です。今後まとめる研究紀要にぜひ反映していただければと思います。

